

○ 専門学校留学生担当者研修会

11月28日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場として「令和元年度専門学校留学生担当者研修会」がTCE財団の主催により開催された。受講者は143名。

稲垣貴裕出入国在留管理庁在留管理支援部在留管理課調整官が「出入国在留管理行政の現況と課題」のテーマで講演。特に6月11日文部科学省との連名で「留学生の在籍管理の徹底に関する新たな対応方針」について言及。「昨年未の【外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策】により、日本語教育機関に関しては選定基準を見直した。現在、大学、専門学校等についても同様に判断基準を見直す方向性を検討中。選定の要素として、従来不法残留者数に加え、在留期間更新許可申請に関し不許可処分等を受けられた者、在留資格を取り消された者、資格外活動許可を取り消された者及び退去強制令書が発付された者を追加。これら問題在籍者の合計の割合が5%を超える慎重審査を実施する方向性で検討している。」

続いて、森田恭子東京出入国在留管理局留学審査部門統括審査官が「留学生に係る出入国・在籍関係等申請の実務について」をテーマとして講演。最後に、美野喬志文部科学省専修学校教育振興室第二係長が「専修学校留学生に対する支援について」のテーマで講演を行った。

○ 専門学校留学生受け入れ担当者協議会

12月2日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場としてTCE財団が文部科学省の委託事業として、受講者110名により実施。

稲垣貴裕出入国在留管理庁在留管理支援部在留管理課調整官が「出入国在留管理行政の現況と課題」のテーマで講演。続いて「関東福祉専門学校における留学生受入れ・就職事例」を生方薫関東福祉専門学校教務主任が、「介護福祉施設等における留学生受入事例」を福原亮一般社団法人ワムタウン推進本部理事が事例発表。

パネルディスカッション「これからの専門学校と日本語教育機関との連携について一介護福祉分野における留学生の事例について学ぶ」をテーマとして、コーディネーターを武田哲一留学生委員会委員長、パネラーに事例発表を行った生方教務主任と福原理事、新井永鎮赤門会日本語学校常務理事を交えて、新たな出入国在留管理行政に対応する専門学校と日本語教委機関との連携の重要性について協議し、出席者と質疑応答を行った。

○ 専門学校留学生就職指導担当者研修会

12月5日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場としてTCE財団が文部科学省の委託事業として、受講者105名により実施。

「留学生採用企業における事例」を泉俊哉ユニオンケミカー株式会社総務課主事が、「専門学校における留学生

専門学校留学生研修会を開催

の就職事例」を国政恵美奈良コンピュータ専門学校が事例発表。「外国人雇用の際の在留資格手続きについて」を桑田優行政書士事務所つづけるサポートが講演。パネルディスカッション「専門学校・企業における留学生就職促進に係るこれからの連携について～新たな在留制度と専門学校留学生の就職促進」をテーマとしてコーナーディネーターを長谷川恵一エール学園理事長、パネラーに泉主事と国政先生、桑田行政書士、武田哲一留学生対応委員長を交えて、新たな在留資格「特定技能」を巡る対応方策、アルバイト28時間オーバーした留学生への対応、企業と連携した就職促進の重要性について協議し、出席者と質疑応答を行った。